

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 東和薬品株式会社
コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川 義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	26,670	—	4,544	—	4,410	—	2,541	—
20年3月期第3四半期	23,447	8.7	3,983	20.9	4,092	9.6	2,381	10.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	148.02		—	
20年3月期第3四半期	138.71		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	45,472		36,834		81.0	2,145.61		
20年3月期	45,066		34,938		77.5	2,035.11		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 36,834百万円 20年3月期 34,938百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
21年3月期	—	22.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,600	13.0	5,800	9.7	5,700	10.7	3,250	20.7	189.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 17,172,000株 20年3月期 17,172,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 4,556株 20年3月期 4,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 17,167,548株 20年3月期第3四半期 17,167,847株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている連結業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（9か月）の国内経済は、エネルギー・原材料価格高の影響や輸出の増勢鈍化などから停滞しておりましたが、米欧の金融機関の破綻などをきっかけに、世界的な景気の急速な悪化が顕著になってきております。米欧の景気後退局面は長期化すると予想されることから、日本経済の一段の下振れリスクもあり、景気回復への道筋は不透明な状況にあります。

医療用医薬品業界では、「平成24年度までに、後発医薬品の数量シェアを30%（現状から倍増）以上にする」という政府目標に向けて、平成20年4月に、処方せん様式の再変更、および後発医薬品調剤体制加算の新設などの後発医薬品使用促進のための環境整備が行われました。

このような中、当社グループは、引き続き適正価格販売を維持し、需要拡大が見込まれる保険薬局や病院の取引軒数拡大を目指した営業活動を行いました。7月には、アムロジピンOD錠5mg「トローワ」など15成分21品目を、11月にはセフニールカプセル100mgなど7成分10品目を新発売いたしました。また、10月には社内外の製品情報を一元的に収集・管理し、最新かつ正確な適正使用等の資料を作成・提供する部門として医薬情報部を設置し、社内外への情報提供体制の充実を図りました。

この結果、今年度の新発売品の売上975百万円を含め、前年同期比で3,223百万円売上が増加しました。

以上により、当第3四半期（9か月）の当社グループの売上高は、26,670百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益4,544百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益4,410百万円（前年同期比7.8%増）、第3四半期純利益は、2,541百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、45,472百万円となり、前連結会計年度末比405百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加であります。

負債につきましては、8,637百万円となり、前連結会計年度末比1,490百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少であります。

純資産につきましては、36,834百万円となり、前連結会計年度末比1,896百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

その結果、自己資本比率は81.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、953百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,217百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,399百万円の増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益4,227百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額1,998百万円、売上債権の増加額1,573百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,876百万円の減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出2,189百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は769百万円の減少となりました。主な減少要因は、配当金の支払額769百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は平成20年11月10日の決算短信で発表した予想をわずかに上回る水準で推移しており、足下の業績動向を踏まえ、売上高、営業利益の予想を見直しました。

一方、急速な経済環境の変化に伴い、当第3四半期末でスワップ評価損、及び投資有価証券評価損が発生していることを踏まえ、経常利益、当期純利益につきましては、前回発表予想を減額修正しております。

なお、平成20年11月10日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,300	5,800	6,000	3,750	218 44
今回修正予想 (B)	35,600	5,800	5,700	3,250	189 31
増減額 (B-A)	300	-	△300	△500	-
増減率 (%)	0.8	-	△5.0	△13.3	-
前期実績	31,495	5,285	5,146	2,692	156 85

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計期間に係る減価償却の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は、いずれも軽微であります。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,998	757,040
受取手形及び売掛金	13,924,048	12,342,224
有価証券	12,495	1,414,083
商品及び製品	4,786,133	4,505,328
仕掛品	2,058,708	2,187,183
原材料及び貯蔵品	2,448,414	2,674,009
その他	1,298,921	1,412,621
貸倒引当金	△58,499	△115,441
流動資産合計	25,411,221	25,177,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,541,572	6,243,915
機械装置及び運搬具（純額）	2,349,549	2,092,296
土地	5,960,542	5,977,572
建設仮勘定	401,365	1,006,762
その他（純額）	479,890	481,621
有形固定資産合計	16,732,920	15,802,168
無形固定資産	255,315	310,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,225,451	2,846,786
その他	874,075	965,431
貸倒引当金	△26,480	△35,039
投資その他の資産合計	3,073,046	3,777,179
固定資産合計	20,061,283	19,889,562
資産合計	45,472,504	45,066,613

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,669,396	4,479,204
未払法人税等	861,758	1,175,506
引当金	64,465	79,140
その他	3,064,968	3,304,640
流動負債合計	7,660,588	9,038,491
固定負債		
引当金	168,998	250,427
その他	808,349	839,653
固定負債合計	977,348	1,090,081
負債合計	8,637,936	10,128,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	24,277,990	22,509,421
自己株式	△9,646	△8,788
株主資本合計	36,856,778	35,089,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,210	△151,028
評価・換算差額等合計	△22,210	△151,028
純資産合計	36,834,568	34,938,040
負債純資産合計	45,472,504	45,066,613

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	26,670,406
売上原価	13,790,999
売上総利益	12,879,406
販売費及び一般管理費	8,335,341
営業利益	4,544,064
営業外収益	
受取利息	34,255
受取配当金	2,494
有価証券売却益	165
有価証券償還益	7,267
技術指導料	49,285
その他	85,268
営業外収益合計	178,737
営業外費用	
支払利息	7,069
有価証券評価損	112,065
スワップ評価損	166,009
その他	26,919
営業外費用合計	312,064
経常利益	4,410,738
特別利益	
貸倒引当金戻入額	59,068
退職給付制度終了益	231,796
特別利益合計	290,864
特別損失	
固定資産処分損	7,232
たな卸資産評価損	10,135
投資有価証券評価損	365,966
工場閉鎖損失	91,194
特別損失合計	474,528
税金等調整前四半期純利益	4,227,074
法人税等	1,685,964
四半期純利益	2,541,110

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,227,074
減価償却費	1,379,024
工場閉鎖損失	25,366
のれん償却額	10,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△65,502
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△96,104
固定資産処分損益 (△は益)	7,232
たな卸資産評価損	10,135
受取利息及び受取配当金	△36,750
支払利息	7,069
スワップ評価損益 (△は益)	166,009
有価証券評価損益 (△は益)	478,031
有価証券売却損益 (△は益)	△165
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,573,402
たな卸資産の増減額 (△は増加)	63,129
仕入債務の増減額 (△は減少)	△809,807
その他	△442,286
小計	3,342,375
利息及び配当金の受取額	62,695
利息の支払額	△7,069
法人税等の支払額	△1,998,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,399,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,189,658
有形固定資産の売却による収入	100
投資有価証券の取得による支出	△50,000
投資有価証券の売却による収入	404,152
貸付金の回収による収入	18,000
その他	△59,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,876,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△769,123
自己株式の取得による支出	△858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△769,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,909
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,217,629
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,494

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の合計の額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	23,447,088
II 売上原価	12,475,452
売上総利益	10,971,635
III 販売費及び一般管理費	6,988,035
営業利益	3,983,599
IV 営業外収益	300,824
受取利息及び配当金	150,591
有価証券償還益	13,260
為替差益	41,533
その他	95,439
V 営業外費用	191,672
支払利息	13,338
有価証券評価損	157,624
有価証券売却損	13,683
スワップ評価損	95
その他	6,930
経常利益	4,092,752
VI 特別利益	13,504
VII 特別損失	179,555
税金等調整前四半期純利益	3,926,700
税金費用	1,545,299
四半期純利益	2,381,401

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,926,700
減価償却費	1,042,822
減損損失	177,018
スワップ評価損	95
売上債権の増加額	△119,510
たな卸資産の減少額	8,631
仕入債務の減少額	△159,768
その他	△320,284
小計	4,555,705
法人税等の支払額	△2,224,960
その他	137,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,468,559
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	299,481
有形固定資産の取得による支出	△725,790
有形固定資産の売却による収入	2,415
投資有価証券の取得による支出	△1,021,750
投資有価証券の売却による収入	1,032,150
その他	361,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,185

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△300,000
配当金の支払額	△758,089
その他	△1,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,059,545
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	50,170
V 現金及び現金同等物の増加額	1,406,999
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,196,612
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,603,611